

感染性胃腸炎について

消化器内科

岡本 博司 さん
国吉病院 消化器内科部長



器具は熱湯で消毒（85度で1分以上）するか、塩素系漂白剤を25倍に薄めたもので消毒するなどの対策が必要です。

感染性胃腸炎は、秋から春先にかけて流行することが多い病気です。秋から冬にかけてはノロウイルスによるものが多く、春先にはロタウイルスによるものが多くなります。感染経路は、ウイルスの付着した手指や食品などを介しての経口感染、吐物や便を介しての飛沫感染、二枚貝の生食などがあります。潜伏期間は1〜2日で、嘔吐、下痢などを起こします。通常数日で治りますが、乳幼児や高齢者では重症化することがあります。抗ウイルス薬はなく、治療は水分補給などの対症療法となります。予防には、食品をよく加熱する、よく手を洗うことが大切です。吐物で汚れたときは、マスク、エプロンを着用した上、床や家具は塩素系漂白剤を50倍に薄めたもので消毒、衣類や調理器具は熱湯で消毒（85度で1分以上）するか、塩素系漂白剤を25倍に薄めたもので消毒するなどの対策が必要